

実践サイバー演習「RPCI（リップシィ）」

～ インシデント対応力を高めるリアリティを追求した、情報処理安全確保支援士向け特定講習 ～



概要

国家資格「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」の特定講習として、
2021年度からNICTにて実施。「CYDER」で培った、サイバー演習の
ノウハウを活かし、技術に寄った講習を希望する受講者のニーズに応えます。

RPCI 4つの特徴

<p>専門性の高い実践講習</p> <p>RPCIは登録セキスペ資格更新時の必須要件の一つである特定講習です。インシデント対応の専門家としてのキャリアを目指す方におすすめです。</p>	<p>チームで取り組む 実践的な演習プログラム</p> <p>オンラインでの事前学習に加え、集合演習では実務に活かせるツールを使った解析等実践的な演習としています。</p>	<p>インシデント対応の 疑似体験が可能</p> <p>組織のシステムを忠実に再現した大規模環境で、実際の機器やソフトウェアを操作し、インシデントの検知から報告・事後対応までインシデントハンドリングの一連の流れが学べます。</p>	<p>経験豊富な講師・チューター が演習をサポート</p> <p>集合演習では、講師に加え複数名のチューターが演習やツールの操作等をサポートし、より深い理解を促進します。</p>
---	---	--	--

2024年度 実践サイバー演習 RPCI(リップシィ)の実施概要

- ① 対象者 : 情報処理安全確保支援士等(※)
- ② 講習形態 : 事前学習 (オンライン形式) と集合演習 (会場でのハンズオン&グループワーク)
- ③ 開催日程 : 6/20(木)、6/29(土)、7/4(木)、7/11(木)、7/18(木)、8/22(木)、11/21(木)、12/7(土)、12/19(木)、2025/1/16(木)
- ④ 講習会場 : NICT イノベーションセンター (東京都中央区日本橋) ※ 11/21(木)は大阪での開催を予定
- ⑤ 受講期間 : 事前学習 2 時間程度～ + 集合演習 1 日間 (10:00～18:00)
- ⑥ 定員 : 48 名/回
- ⑦ 受講費用 : 88,000 円 (税込)

※情報処理安全確保支援士ではない方もご受講可能です。

特徴

- ・ 公的機関唯一の情報処理安全確保支援士向け特定講習
- ・ 仮想組織のネットワークをシミュレートした演習環境を舞台に演習を実施
- ・ 受講者はCSIRTの一員として参加
実機を用いて攻撃者からの攻撃に対処することで、
インシデントハンドリングのスキルアップが可能

ユースケース

- ・ インシデント発生時の対応の流れを疑似体験することで、いざという時に即座に行動できるようになる
- ・ CSIRTメンバー、上司、ベンダー等と適切に情報共有し主体的なインシデント対応ができるようになる
- ・ 実務に活かせるツールを使った解析など、実践的な内容が学べる

今後の展開

- ・ 年2回の資格更新時期に合わせ、6～7月と12～1月に集中開催を予定
- ・ 2024年度は初の試みとして11月に大阪での開催を予定

【お問合せ先】

サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバートレーニングセンター サイバートレーニング研究室/事業推進室
Mail : rpci@ml.nict.go.jp Web : <https://rpci.nict.go.jp/>



RPCI公式サイト



NICTオープンハウス2024

Copyright © 2024 NICT All Rights Reserved.